

太古ロマン 市の花 オオガハス

オオガハスは、市内で発掘された古代ハスの実を、植物学者でありハスの権威でもあった大賀一郎博士が発芽・育成したものです。

古代のロマンを秘めたハスとして、市の花に制定されています。

園緑政課 ☎245-5753 FAX245-5885

奇跡の発見！オオガハス

1951年、大賀一郎博士たちは現・東京大学検見川総合運動場の地層を掘り下げ、推定2,000年以上前の古代ハスの実を3粒発掘しました。そのうちの1粒が順調に生育し、奇跡的に大輪の花を咲かせました。

現在では、国内外150カ所以上に分根され、友好と平和の使者として親しまれています。

オオガハスが見られるスポット



千葉公園

6月中旬～7月上旬の最盛期には、約300株のオオガハスをハス池で楽しめます。

園中央・稲毛公園緑地事務所
☎251-5103 FAX254-5834

しらさぎ公園

花見川区役所のすぐ近くにある公園です。6月下旬～7月上旬の最盛期は約100株が開花します。

園花見川公園緑地事務所
☎286-8740 FAX286-8827



富田さとにわ耕園

4月のシバザクラ、10月のコスモスで知られる富田さとにわ耕園でオオガハスが見られます。

園富田さとにわ耕園
☎226-0022（月曜日（祝日の場合は翌日）を除く）
FAX226-0501

みどりの楽講in千葉公園「温度も楽しむ大賀ハス講座」

象鼻杯の体験など、オオガハスのいろいろな楽しみ方を学べる講座です。

日時 6月13日(土)10:00～12:00
会場 千葉公園好日亭
対象 15歳以上の方 定員 先着20人
料金 1,000円（ハスの実おこわ弁当付き）
申込方法 電話で、カフェ・ハーモニーへ。

園カフェ・ハーモニー ☎070-4325-3650（月曜日を除く）
中央・稲毛公園緑地事務所 ☎251-5103 FAX254-5834



純粋なオオガハスを守るために

オオガハスの純粋な種の遺伝的特性を維持しながら後世に引き継ぐため、市では系統保存を行っています。オオガハスがほかのハスと交配した種子で繁殖しないよう、花が咲いた後の果托を確実に切り取って、ハス池とは別の鉢で栽培しています。



オオガハスの豆知識

ハスの葉は超撥水性の構造をしているので、濡れません。

ロータス効果といって、水滴が葉っぱの表面を転がりながら、泥やゴミ、虫などを絡め払い落として、きれいにしています。



千葉を知る

十三、市民の協力が支えた奇跡の開花

1951年、大賀一郎博士と市民の手によって地中から発掘されたハスの実は、わずか3粒。奇跡的に発芽に成功した博士でしたが、成長した蓮根はわずか1株。開花の夢を託された蓮根は博士に大切に育てられ、立ち葉をつける株へと成長しました。

翌年、東大検見川厚生農場、千葉公園、県農業試験場へと分根された株でしたが、厚生農場の農場長は、飼育動物の食害を案じ、「この方なら行き届いた管理をしてくださるはず」と発掘のときから支援してもらっていた地元の伊原茂さんに栽培をお願いしました。



伊原さん宅の鉄釜

しょうゆ業を営む伊原さんの自宅には、ハスを育成する専用の設備はありませんが、しょうゆを作るための古い鉄釜を庭の真ん中に置き、田の泥を入れ、博士の教えを守って、ていねいに世話をしました。



つぼみを手にする博士と伊原さん

その年、見事に最初のつぼみをつけたのは伊原さんの株でした。2000年の眠りから覚めたオオガハスの開花は、携わった全ての人に感動を与えました。この成果はアメリカの雑誌ライフに掲載され、世界中に発信されました。

現在、このオオガハスを純粋な種のみで後世に引き継ぐため、熱意あふれるたくさんの人々の力を借りて、系統保存が続けられています。

園都市アイデンティティ推進課 ☎245-5660 FAX245-5476